

熊本城の管理に関する取扱要領

平成 1 9 年 1 2 月改正

熊本市教育委員会

熊本城の管理に関する取扱要領

平成19年12月改正

(熊本城使用に関する基本方針)

第1条 熊本県及び熊本市は、国指定の特別史跡である熊本城跡（以下「熊本城跡」という。）、構成要素である重要文化財の熊本城諸櫓（以下「熊本城諸櫓」という。）及び天然記念物藤崎台のクスノキ群の指定地域（以下「指定地域」という。）について、この維持保存のため常時努力を続け、これを毀損することのないように万全な対策を講ずるものとする。

2 熊本城跡、熊本城諸櫓及び近く指定を予定されている公有の地域については、熊本市が管理団体として維持、保存にあたり、天然記念物藤崎台のクスノキ群の指定地域については、熊本県がその直接管理を担当している。両者は互いに緊密な連絡をとり、文化財の維持保存に当たるものとする。

3 指定地域内における業務及び諸行事の開催は、文化財保護法（以下「法」という。）の規定による現状変更等（以下「現状変更等」という。）の許可、又はその他の必要な正規の手続きを経て許可を得た場合以外は原則として一切これを禁止する。

(届け出を要しない業務等)

第2条 指定地域内における業務及び諸行事の開催について届け出を要しないものは、次の各号に限る。

(1) 藤崎台野球場における熊本県教育委員会（野球場担当課）が正式に承認する野球場の使用目的に合致した使用の場合、およびその際の正規駐車場の駐車範囲内における駐車。

(2) 熊本城総合事務所が、熊本城内の日常の維持管理上必要と認めて実施する清掃その他管理団体の本務としての業務。

(3) 熊本県立美術館、熊本博物館及び旧細川刑部邸が、その直接管理する敷地および建物内における現状変更を伴わない維持管理のための軽微な業務。

(4) 監物台樹木園が、園内の直接の維持管理上実施する現状変更を伴わない軽微な日常業務。

(5) 特別な許可を得てこの地域内で常時商行為を営む者が、定められた範囲内で商行為に伴い最小限必要な事項を実施する場合。

(現状変更申請等の要件)

第3条 指定地域における現状変更等の申請は、次の各号に掲げる要件すべてに適合するものでなければならない。

- (1) 史跡・重要文化財等としての保存を確実にし、適切な活用を促すものであること。
- (2) 文化財の指定を受けた物件に危険危害を及ぼす恐れのないもの、またはその危険危害を防止する対策が十分に配慮されていること。
- (3) 文化財に直接危険危害を及ぼさず、またその行為によって滅失・衰亡、破損、毀損を招来する恐れのないことが確認できる場合。
- (4) 文化財の景観に及ぼす直接若しくは間接の影響がないもの、または景観上の影響も軽微にとどめることができるもの。

(諸行事開催に係る現状変更等の制限)

第4条 指定区域における現状変更等において諸行事開催に係るもの（ただし、法施行令の規定により熊本市教育委員会が許可できるものに限る）については、別表に定める基準（地域、行事内容）に適合するものに限り許可するものとする。

2 前項の規定に関わらず熊本市教育委員会が特に必要と認める場合は、この限りではない。

(遵守事項)

第5条 上記の全地域内での上記範囲の行事については必ず次の条件を遵守させるものとする。

- (1) 火気の使用の制約もしくは禁止
- (2) 監視員の配置と安全対策の樹立
- (3) 樹木、石垣、建造物、地下遺構等の毀損防止
- (4) 後始末の徹底
- (5) 交通渋滞防止のための十分な対策の樹立

附 則

(施行期日)

この要項は、平成18年4月1日から適用する。

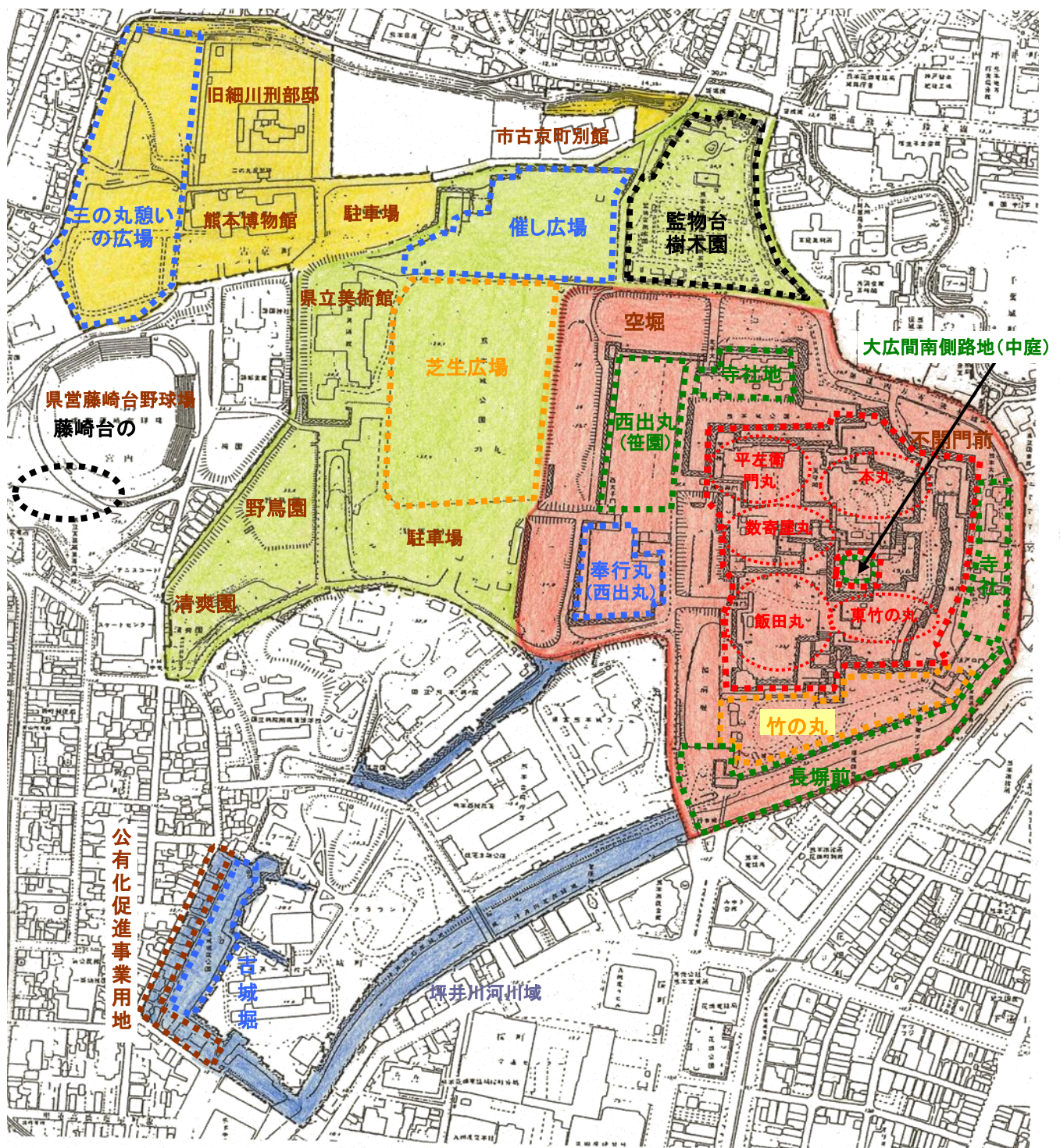
附 則

この要項は、平成20年4月20日から適用する。

別表（第4条関係）

地 域 区 分			許 可 で き る 行 事
本丸	有料区域	本丸(天守閣前)、数寄屋丸、平左衛門丸、飯田丸(西竹の丸)、東竹の丸	管理団体が行う恒例行事に限る。
		大広間南側路地(中庭)	以下のいずれかに該当する行事（市主催・共催等行事）に限る。 ア 熊本市が主催もしくは共催して行う熊本城を周知させ、特別史跡に対する興味と関心を喚起させる催事で景観、品格を損なわないもの。 イ その他、公共的性格を有する者が主催する行事で特に熊本城を周知させる効果があると認められるもの。
		竹の丸	熊本県もしくは熊本市が県民、市民全体を対象として熊本城を周知させる目的をもって行う文化的行事であり、かつ文化財に対する十分な配慮のもとに実施される行事（以下「県・市主催行事」という。）に限る。
	無料区域	奉行丸（西出丸）	第3条の規定に適合する一般行事。
		西出丸（笹園）、長堀前（坪井川、左岸を含む）、私有（寺社）区域	以下のいずれかに該当する行事（市主催・共催等行事）に限る。 ア 熊本市が主催もしくは共催して行う熊本城を周知させ、特別史跡に対する興味と関心を喚起させる催事で景観、品格を損なわないもの。 イ 史跡内の土地所有者が行う定例行事。 ウ その他、公共的性格を有する者が主催する行事で特に熊本城を周知させる効果があると認められるもの。
		空堀内、不開門前その他の区域	行事の開催を認めない。
二の丸	芝生広場		県・市主催行事に限る。
	催し広場		第3条の規定に適合する一般行事。
	監物台樹木園		国の直接管理であるこの区域については、第3条の規定に適合するものであること。
	清爽園、野鳥園その他の区域		行事の開催を認めない。
三の丸	憩いの広場		第3条の規定に適合する一般行事。
古城地区	古城堀端公園		第3条の規定に適合する一般行事。
	公有化促進事業取得地		用地管理のみを行い、行事の開催を認めない。
その他	藤崎台のクスノキ群		熊本県が直接管理するこの区域については、第3条の規定に適合し、火気については十二分の処置が考慮されているもの。

(参考) 特別史跡熊本城跡の管理に関する取扱い要領別図



本丸地区 二の丸地区 三の丸地区 古城地区

赤字 管理団体（熊本城総合事務所）が行う恒例行事

黄字 県・市主催行事

緑字 市主催・共催等行事

青字 第3条の規定（現状変更申請等の要件）に適合する一般行事

黒字 熊本県又は国が直接管理する区域

茶字 博物館、駐車場等の便益施設及び行事の開催を認めない区域

『熊本城の管理に関する取扱い要領』比較表

赤字が変更部分

	区 域		新		旧		
			タイプ	運用基準（案）	タイプ	現在の運用基準	具体例
屋外	本丸ゾーン	天守台	1	管理団体が行う恒例行事	3	(市の主催・共催等の行事) 熊本市の主催もしくは共催して行う熊本城を周知させまたは観光客のイメージをふくらませる行事。土地所有者が行う定例行事。公共的性格を有する者が主催する行事。	カウントダウン・菊花展・「おいニッポン」生中継
		平左衛門丸	1		3		カウントダウン・お茶会・演武大会、お城まつり
		数寄屋丸	1		3		肥後朝顔展・おいしんぼ村
		竹の丸	2	県又は市の主催する行事	3		お城まつり
		その他の区域	1	管理団体が行う恒例行事	3		竈城体験
		西出丸	4	第3条の規定に適合する一般行事。	3		
		西出丸(笹園)	3	市の主催・共催等の行事	3		
		長堀前他無料区域	3	市の主催・共催等の行事	3		流鏝馬・お茶会、清正公まつり、初午
	二の丸	芝生広場	2	県又は市の主催する行事	2	県又は市の主催する行事	
		催し広場	4	第3条の規定に適合する一般行事。	4	特に行事の種類の制限なし	藤崎宮例大祭休息所(テント)・崇城大学井芹祭(テント)・他
		その他の区域	-	イベント不可	3	イベント不可	
		監物台樹木園	5	樹木園用途	-	樹木園用途	法の規定に基づく制約を満たすもの
	三の丸	憩いの広場	4	第3条の規定に適合する一般行事。	-	イベント不可	H16年度追加指定地(17.3.2)
	古城堀端公園		4	第3条の規定に適合する一般行事。	3	市の主催・共催等の行事	
	公有化促進事業取得地		3	用地管理	3	用地管理	補助による購入地のため目的外使用不可
	藤崎台のクスノキ群		5	用地管理	-	用地管理	法の規定に基づく制約を満たすもの

タイプ1： 管理団体（熊本城総合事務所）が行う恒例行事

タイプ2： 熊本県もしくは熊本市が、県民・市民全体を対象として熊本城を周知させる目的をもって行う文化的行事であり、かつ文化財に対する十分な配慮のもとに実施される行事。

タイプ3： 熊本市が主催もしくは共催して行う熊本城を周知させまたは観光客のイメージをふくらませる催事で景観、品格を損なわないものに限る。または史跡内の土地所有者が行う定例行事。その他、公共的性格を有する者が主催する行事で特に熊本城を周知させる効果があると認められるもの。

タイプ4： 第3条の規定（現状変更申請等の要件）に適合する一般行事

タイプ5： 熊本県又は国が直接管理する区域。文化財保護法の規定に基づく制約を満たすもの。

※この基準はあくまで催し物を開催するに当たっての仮設物等の現状変更申請に係るものであり、工事等に係る現状変更や映画などの撮影申請を妨げるものではない。